

10月

令和2年10月1日

# ちびっこの森通信 vol.41

## ★★今月のテーマ★★



- ・ 気温や活動に応じて衣服の調節を行い、快適に過ごす。
- ・ 秋の自然に触れ、遊ぶ楽しさを味わう。



## ～今月の園内学習～



- ・ 足し算…1の段
- ・ 掛け算…5の段
- ・ 歴史カード…「松尾芭蕉」ほか
- ・ 国旗カード…日本ほかアジア各国
- ・ 絵画カード…「落ち穂拾い」他
- ・ 地理カード…中部地方
- ・ 声に出して読みたい日本語
- …早口ことば他



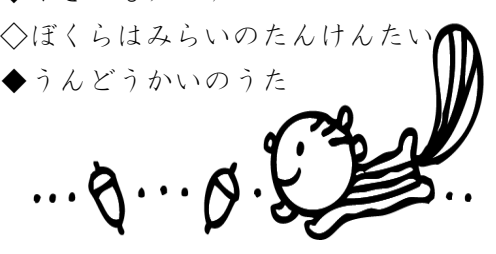
## ～行事予定～

- ・ 書道教室…1日・15日・22日・29日
- ・ 英語教室…6日
- ・ 避難訓練…29日
- ・ 歯科検診(幼児)…6日  
(乳児)…13日
- ・ 身体測定…15日[未満児]  
・16日[以上児]
- ・ リミック…5日[0・1歳児/2歳児]  
19日[3歳児/4・5歳児]
- ・ 体操教室…2日[2歳児/4・5歳児]  
14日[0・1歳児/3歳児]
- ・ お誕生日会…26日
- ・ ハロウィン…30日



## ♪今月の歌♪

- ◇いもほりのうた
- ◆やきいもグーチーパー
- ◇ぼくらはみらいのたんけんたい
- ◆うんどうかいのうた



## ◆◆新しいお友だち◆◆

★ほりの ふゆかちゃん  
(4さい)



## 0～1歳児だより



日の入り時間が随分と早まり、はっきりとした朝夕と日中の寒暖差から秋風情を感じる今日この頃。快適な気候の下、公園等の戸外で存分に身体を動かして遊ぶ日々です。また、室内に目を向けるとスタンプやお絵描き等の制作活動も盛んです。衣服の着脱やトイレでの排泄なども自分でやりたい!という気持ちが芽生え、こどもたちなりに試行錯誤を繰り返し、少し前迄とはすっかり見違える姿に成長しているのを頼もしく感じています。季節の移りわる時季は体調管理が難しいですが、引き続きこまめな水分補給、適度な休息と衣服の適切な調節を図り、楽しい秋を満喫できるようにしていきます。



## 2～3歳児だより



もくもくと空一面を覆うような入道雲から空が所々透けて見えるうろこ雲やいわし雲を目にするようになり、季節の移り変わりが感じられます。先月、敬老葉書の制作では、祖父母のことを思い浮かべ「よろこんでくれるかな?」とワクワクした表情で準備をしていたのが印象的でした。その流れで葉書をポストへ投函し、集配から配達といった”郵便屋さんごっこ遊び”で盛り上がりました。それは、端的に「楽しかった」や「帽子、もう一回被りたいね」といった言葉に凝縮されているのが分かります。その他にも、こども同士のかかわりが増えてきており、こどもたちは想像力をさらに膨らませ、遊びの展開が広がっているのが目が離せませんし、目を見開かされるばかりです。今後もよく見守っていきます。



## 4～5歳児だより



読書、スポーツに食欲の秋、の到来にこどもたちの表情も心なしか緩んでいるように感じるのは何かの錯覚でしょうか?敬老の日に向け、敬老ハガキ制作にはじまり、農園のおじいちゃんたちにフォトフレーム、ドエル祇園のおじいちゃん&おばあちゃんに手製メダルと大忙しの1ヶ月となりました。敬老ハガキでは、”郵便屋さんごっこ”で馴染みの薄い郵便の流れをハガキを通じて学ぶ機会を得、みんなは積極的に参加し、楽しむことができました。春先以降、お世話になりっぱなしの農場のおじいちゃんに感謝の気持ちをこめたプレゼントを届けに行った帰りに、敬老カードを実際に投函するというごっこ遊びの完結を図りました。今年度はコロナ禍で夏の水遊びもそうでしたが、思うような形で行事が出来ないのが現状ですが、再来月にはこどもたちにとって大きなイベントとなる運動会が控えています。それぞれが今できることを一所懸命に取り組み、ピカピカと輝く姿をお見せできるように練習をしていこうと思っていますのでよろしくお願いします。



## 給食だより ～「好き嫌い」がはじまっちゃったら…～

今夏も朝から晩まで厳しい暑さで気が抜けませんでした。秋彼岸以降は「食欲の秋」、「スポーツの秋」などと表現されるように何をするにも心地よい秋へと季節が移り変わろうとしています。ただ、暑さに慣れ切った身体は、この時季の気温変化に順応するには時間を要し、体調管理には気を使っていかなければなりません。それには、「食う」、「寝る」と「遊ぶ」のバランスが重量です。今回は、その中の「食う」について考えてみましょう。口当たりのいい離乳食は、野菜や肉を含め、何でも食べてくれていたのに…1歳過ぎに顕著にはじまるのが”好き嫌い”で、どの親御さんも直面する悩ましい成長過程ですね。それは、(食べさせてもらっていた)受け身から(自分で食べる)自発性に切り替わり、自己抑制力はゆっくと発達することから「これは嫌!」といった行動が目につくようになってくるからです。あと、この時期の野菜嫌いも挙げられますが、これは野菜特有の苦みやえぐみに加え、奥歯の未発達が原因として考えられます。他にも、馴染みのないものを警戒する「新奇性恐怖」という性質もあり、(白米等のばっかし食べ等)偏食や食わず嫌いに繋がっているのではないかとされる所以です。乳幼児期のこうした食習慣の改善には、まず時間を要することを念頭に置き、(同じ献立の繰り返しの)サイクル・ルーチンを基本とし、お子さんに食材を馴染ませることに主眼を置きましょう。また、親御さんが一緒に美味しそうに同じものを食べるということに繋げていくことも肝要です。この乳幼児期は、身体の基本もそうですが、味覚形成にも重要な時期ですから、食事の強要よりはむしろ焦らず気長に時間を取り、バランスのとれた食習慣を形成していくようにし、お子さまの丈夫な身体づくりに役立てていくようにしましょう!